

**指導事例6 美術 構想する力を高める 第2学年 「和・モダン・ランプシェード」**

**【題材の構成について】**

題材の前半に、個人の構想を練る活動「要素Ⅰ」を位置付け、その後、各自の構想の伝え合い「要素Ⅱ」を行う。そして、友達からのアドバイスを基に自分の作品を更に構成し直す「要素Ⅲ」を行い、作品作りに生かす展開となっている。また、後半も言語活動を通して鑑賞を行う。

**1 題材の目標**

使用する目的や機能を考える表現に関心をもち、用と美の調和や日本人の自然観や季節のイメージなどを基に表現の構想を練って創造的な表現の工夫を行い、互いに批評し合う活動を通して、用と美の調和のとれた洗練された美しさ、表現の工夫などを感じ取り、自分の価値意識をもって味わう。

**2 題材の評価規準**

美術への 関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
<b>表現</b> 美術の創造活動の喜びを味わい、ランプシェードのデザインに関心をもち、主体的に造形的な美しさなどを総合的に考えて構想を練ったり、光や材料や用具などの特質を生かしたりしようとする。 <b>鑑賞</b> 美術の創造活動の喜びを味わい、ランプシェードのデザインを鑑賞し、生活を美しく豊かにする美術の働きに関心をもち、主体的に見方や理解を深めようとしている。	感性や想像力を働かせて、ランプシェードの用途や機能、光の効果や日本人の自然観や季節のイメージ、使用する者の気持ちなどを基に、形や色彩、材料、光の効果を生かして造形的な美しさなどを総合的に考え、表現の構想を練っている。	感性や想像力を働かせて、和紙や針金などの材料の特質を生かし、自分の表現意図に合う新たな表現方法を工夫したり、制作の順序などを総合的に考え見直しをもったりしながら、創造的に表現している。	感性や想像力を働かせて、造形的なよさや美しさ、作者の意図と創造的な表現の工夫、目的と和風のデザインの美しさの調和などを感じ取り味わったり、生活を豊かにする美術の働きについての理解や見方を深めたりしている。

※ 言語活動の評価の観点とは、「思考・判断・表現」を中心とする。

**3 題材の展開（全8時間）**

次	時	学習活動	言語活動に関する指導上の留意点	評価の観点
第1次	第1時	○ランプシェードの用途や目的について理解し、光の効果や材料の特徴、使用するものの気持ちなどを踏まえ、日本人の自然観や季節のイメージを生かして、現実の生活場面に合った形や色彩を発想し、美しく使いやすい表現の構想を練る。	・各自のアイデアをアイデアスケッチやワークシートにまとめさせる。	美術への関心・意欲・態度
	第2時（本時）	○ワークシートやアイデアスケッチを基に各自のデザインの意図や表現の工夫についてグループで話し合う。 ○他者の助言等を基に構想に修正を加え、企画やアイデアを練り直す。	・各自のデザインの意図や工夫について、3～4人のグループで説明し合い、他者の意見を基に、使用目的や条件に合わせて形や色彩を見直したり、季節感を高める表現の工夫などを考えさせたりして、具体的なデザインの改善点を把握し理解させる。 ・構想を練るときには、スケッチや記号、文章等を通して説明を加えたり、デザインの要点を書き入れたりして、アイデアスケッチやワークシートを改善させる。	美術への関心・意欲・態度 発想や構想の能力 鑑賞の能力
第2次	第3時	○アルミ針金や数種類の和紙、絵の具、色紙などの特質を生かし、表現方法を工夫して表現する。	・アイデアスケッチやワークシートで構想したことを基に、作品として表現する。	美術への関心・意欲・態度 創造的な技能
	第4時			
	第5時			
	第6時			
第3次	第7時	○完成作品に添付する作品カードに自作品についての説明を記述し、学習活動や工夫点を振り返る。 ○互いの完成作品を鑑賞し、批評し合って、表現の工夫や、形や色彩の効果などを感じ取る。	・作品カードを書いたり読んだりして鑑賞し、作品のよさや工夫点を理解し合う。	美術への関心・意欲・態度 鑑賞の能力
	第8時	○他者の作品から、作者の意図と創造的な表現の工夫、用と美の調和、和風のデザインのよさや美しさなどを感じ取り、自分の価値意識をもって味わう。	・グループやクラス全体で批評し合うことにより、用と美が調和した作品の良さや和風のデザインについて、見方を広げる。	鑑賞の能力

※ 網掛けは、「思考・判断・表現」に関わる「言語活動に関する指導上の留意点」とする。

4 本時の学習（第2時）

**【本時における言語活動】**  
 「要素Ⅰ 自己の思考」…前時でアイデアスケッチの作成をしたため、本時では行わない。  
 「要素Ⅱ 伝え合い」…ワークシートを基に各自のデザインの意図や表現の工夫について説明し合う。  
 「要素Ⅲ 思考のまとめ」…他者の助言等を基に構想に修正を加え、アイデアを練り直す。

(1) ねらい

使用目的や条件にあったねらいが達成できるような表現にするために、他者との意見交換を通して、用と美の調和と、多くの人が共通に感じる日本人の自然観や季節のイメージを生かした美しい造形表現の視点から、自らのアイデアを見直し表現の構想を練る。

(2) 本時の展開

	学習活動	◇指導上の留意点〔評価〕評価規準【観点】（評価方法）
導 入	1 グループ鑑賞活動の成果や前回の学習を思い出す。 2 本時のめあてをもつ。	◇目的や機能を考え、造形的な美しさなどを総合的に考えたデザインのねらいを確認させる。
	デザインについての意見交換を通して、作品のよさや美しさへの理解を深めよう	
展 開	3 企画書やアイデアスケッチを基に各自のデザインの意図や表現の工夫をグループで説明し合う。 <b>要素Ⅱ 伝え合い</b> ・各自のデザインについて説明し合う。  4 他者の助言などを基に構想に修正を加え、アイデアスケッチを練り直す。 <b>要素Ⅲ 思考のまとめ</b> ・各自のデザインの構想に修正を加え、アイデアスケッチやワークシートを完成させる。	<b>基盤：学習情報の獲得</b> ◇ランプシェードのイメージと、形や色彩の効果について関連付ける。 ◇自然や季節のイメージを表すための、形や色彩、光などの感情を理解させる。 ◇アドバイスは、作成者の意図を十分に理解し、それを踏まえて行うようにさせる。 〔評価〕⇒ 形や色彩の特徴などを基に、ランプシェードのイメージを表現する工夫について、根拠を基に発言している。 【美術への関心・意欲・態度】【鑑賞の能力】 (観察・ワークシート)
ま と め	5 本時の活動で学んだことや気付いたことを発表する。	◇次回の作業につなげられるよう、アイデアスケッチを基に、工夫した点や気付きをワークシートに記入させる。 〔評価〕⇒ 他者の意見を基に、目的や条件、多くの人が共通に感じる形や色彩、光の効果を考えながら表現の構想を練っている。 【発想や構想の能力】 (アイデアスケッチ・ワークシート)

**【活用のポイント】**

- ・ 制作活動が中心の授業においても、ねらいを実現するために言語活動を効果的に取り入れることができる。具体的には、自分のアイデアや表現の工夫を他者に分かりやすいように、形や色彩、材料、光の効果について説明する言語活動である。
- ・ 書いたり説明したりすることを通して、表現に込めた思いや工夫について理解し合ったり、感想や助言を伝え合うことを通して、表現がより豊かになっていく。特に、評価の観点「発想や構想の能力」を高めることにつながる。